2018年6月20日 発行　あすなろ　(No. 637)

あすなろ

熊谷女子高校
図書委員会
第637号
2018年6月20日
発行

Everything is practice.
すべては練習の中にある.

「梅雨」

最近、雨の日が多くなっていますね。今年の関東の梅雨明けは、七月十五〜二十四日ごろと予想されているようです。今回は、雨についてのいろいろな知識をご紹介していきます。

○雨の日は髪の毛が一割重くなる。

梅雨は髪の毛が多い、まとまらない人、多いですよね。実は、湿気のせいで約一割も重くなっているんです！梅雨は女子の最大の敵です〜。

○「日本雨女雨男協会」という会がある。

日本中の雨女・雨男を集めた協会があるんです。簡単に会員になれるそうなので、自分が雨女だと思う方はぜひ入ってみてはいかがでしょうか？

○雨にはいろいろな名前がある。

降る季節や時間帯によって、様々な名前がつけられています。今回はこれから来る七夕に関係する雨の名前をご紹介します。

〜洒涙雨（さいるいう）〜

七月七日に降る雨。織姫と彦星が「別れ際に流す涙」または「会えなくて流す涙」といわれている。

豆知識はどうでしたか？ちなみに、六月二十八日は特異日と言われていて、かなりの確率で雨が降ると言われているんです。みなさんも今年は雨が降るかどうか確かめてみてはどうでしょうか。

師曰く　「還暦で思う事」

私も、この四月二十七日で還暦を迎えた。辞書を引くと、「還暦は干支（十干十二支）が一巡し誕生年の干支に戻ること」とある。私の干支は戊戌（つちのえいぬ、ぼじゅつ）である。日本史で戊年というと1838年に高野長英が、幕府の異国船打払令を批判して書いた『戊戌夢物語』が思い浮かぶ。高野長英は陸奥国水沢（岩手県水沢）出身の医者で、江戸で蘭学・医学を学んだあと、長崎に留学してシーボルトの鳴滝塾で学び、抜群の学力で塾頭にもなっている。1839年蛮社の獄で高野長英は幕政を批判したとして、幕府の役人に捕縛され、永牢の刑（現在の無期懲役刑）を受けている。その後、脱獄して詳細な経路は不明なものの、硝酸で顔を焼いて人相を変えながら逃亡生活を続けている。その間も蘭学・医学の研究は怠らなかったようである。ふたたび江戸に戻ったところを密告されて、役人に捕縛される直前に自害している。学問に身を捧げた壮絶な生涯である。

能女生へのおすすめ本

井田絢子先生（英語科）

①本の名前・作者
『西の魔女が死んだ』
梨木香歩

②おすすめしたい理由

―学校に行けなくなってしまった「まい」は、「西の魔女」ことおばあちゃんのもとで「魔女修業」を始めます。―

私自身が高校生の時に読んだ本で、今でもたまに読み返しています。"頑張る"とはどういうことか、そしてどう生きていくのか。そのヒントをいつも与えてくれます。

図書館からのお知らせ

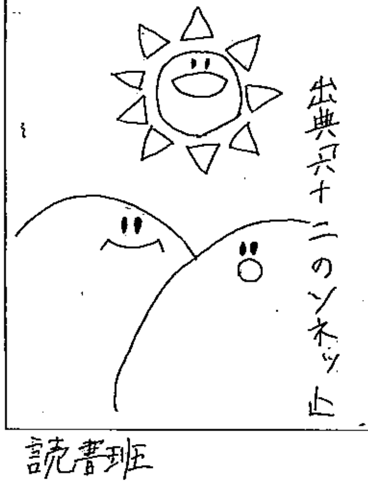
もうすぐ文化祭ですね。みなさんも準備を始めていると思います。そこで、もし必要な時は、図書室にある古新聞や英字新聞を自由に使えるので、ぜひ持っていってください。協力して素晴らしい文化祭にしましょう。

朝 1

谷川俊太郎

著作権の都合により本文は省略

出典『六十二のソネット』



読書班